

Unified IM and Presence(IM&P)サーバ名をホスト名から完全修飾ドメイン名(FQDN)に更新

内容

[概要](#)

[Q. Cisco IM&Pノード名をホスト名からFQDNに変更する方法](#)

[A.](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco IM&Pホスト名をFQDNに変更する方法について説明します。IM&P認証局(CA)署名付き証明書をJabberクライアントで受け入れるために、FQDNに変更する必要がある条件があります。

著者 : Cisco TACエンジニア、Nenos Nicko

Q. Cisco IM&Pノード名をホスト名からFQDNに変更する方法

A.

1. IM&Pパブリッシャが変更された場合は、他のすべてのクラスタのクラスタ間ピアとして削除します。
2. 各クラスタのパブリッシャノードのIM&P管理GUIで、Cisco XCPルータを再起動するためのアラートが表示されているかどうかを確認します。その場合は、指定したノードでXCPルータを再起動します。
3. [Cisco Unified Communication Manager Administration] > [System] > [Presence Redundancy Groups]ページに移動し、各Cisco Unified Presenceサブクラスタでハイアベイラビリティを無効にします。
4. [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Service Activation]ページに移動し、各Cisco Unified Presenceノードで次のサービスを順番に非アクティブにします。Cisco SIP ProxyCisco Presence EngineCisco XCP Text Conference ManagerCisco XCP Web Connection ManagerCisco XCP Connection ManagerCisco XCP SIP Federation Connection ManagerCisco XCP XMPP Federation Connection Manager (アクティブな場合) Cisco XCP Message Archiver (有効な場合) Cisco XCP Directory Service (アクティブな場合) Cisco XCP File Transfer Manager (アクティブな場合) Cisco XCP Authentication サービス
5. [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Control Center - Network Services]ページで、各Cisco Unified PresenceノードのCisco XCP Routerサービスを停止します。
6. [Cisco Unified Communication Manager Administration] > [System] > [Server]ページに移動し

、クラスタ内の各IM&Pノードに対するノード名を変更します。IM&Pノードのホスト名からIM&PノードのFQDNへの完全修飾ドメイン名/IPアドレスフィールドを変更します[Save]をクリックします。警告ポップアップには、[OK]をクリックします

7. クラスタ内のIM&Pパブリッシャノードの管理CLIを開き、データベースレプリケーションを再起動して、変更が有効になっていることを確認します。

次のコマンドを実行します。utils dbreplication reset allこの処理には、クラスタ内でレプリケーションが完全に確立されるまでに時間がかかる場合がありますレプリケーションが完全に確立されているかどうかを確認するには、次のコマンドを実行します。utils dbreplication runtimestate

次の図は、このコマンドの出力を示しています。

```
admin:utils dbreplication runtimestate
Server Time: Fri Jan 5 17:03:13 AEDT 2018
Cluster Replication State: BROADCAST SYNC Completed on 1 servers at: 2017-04-19-16-23
Last Sync Result: 60 tables repaired. SYNC COMPLETED on 305 tables out of 305
Sync Status: NO ERRORS
Use CLI to see detail: 'file view activelog cm/trace/dbl/20170419_161517_dbl_repl_output_Broadcast.log'
DB Version: ccml0_5_2_24900_8
Repltimeout set to: 300s
PROCESS option set to: 1
Cluster Detailed View from impplib (2 Servers):
```

SERVER-NAME	IP ADDRESS	PING (msec)	DB/RPC/ DbMon?	REPL. QUEUE	Replication Group ID	REPLICATION SETUP (RTMT) & Details
impplib	10.67.81.177	0.044	Y/Y/Y	0	(g_3)	(2) Setup Completed
impplib	10.67.81.178	0.486	Y/Y/Y	0	(g_10)	(2) Setup Completed

レプリケーションは、すべてのノードのレプリケーションステータスが[接続]であり、[レプリケーションセットアップ]の値が[2]の[セットアップ完了]の場合に完全に確立されます。注で説明したように、レプリケーションが完全に再確立されるまでに時間がかかることがあります。時間の長さは、データベース内のデータ量によって異なります。図に示す正しい状態が表示されるまで、utils dbreplication runtimestateを継続的に実行します。注：レプリケーションセットアップ値が(4)の場合、レプリケーションに関する問題があり、さらなるデバッグが必要です。

パブリッシャでレプリケーションが完了と表示されたら、すべてのサブスクリバノードでレプリケーションが完了しているかどうかを確認します。サブスクリバノードのadmin CLIにログインし、図に示すように正しい状態が表示されるまでutils dbreplication runtimestateを継続的に実行します。注：サブスクリバノードでは、最終列に「Setup Completed」などのテキストは表示されません。この列のすべての行の(2)の値は、完了を示します。

注意：レプリケーションが完全に確立され、クラスタ内のすべてのノードで完了と表示されるまで、次の手順に進まないでください。

8. [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Control Center - Network Services]ページに移動し、各Cisco Unified PresenceノードでCisco XCP Routerサービスを開始します。

9. [Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Service Activation]ページに移動し、各Cisco Unified Presenceノードで次のサービスを順番に再アクティブ化します。 Cisco SIP ProxyCisco Presence EngineCisco XCP Text Conference ManagerCisco XCP Web

Connection ManagerCisco XCP Connection ManagerCisco XCP SIP Federation Connection ManagerCisco XCP XMPP Federation Connection Manager (以前にアクティブ化されている場合) Cisco XCP Message Archiver (以前にアクティブ化されている場合) Cisco XCP Directory Service (以前にアクティブ化されている場合) Cisco XCP File Transfer Manager (アクティブな場合) Cisco XCP Authentication サービス

10. [Cisco Unified Communication Manager Administration] > [System] > [Presence Redundancy Groups]ページに移動し、各Cisco Unified Presenceサブクラスターでハイアベイラビリティを再度有効にします。
11. 他のクラスター間ピアのパブリッシャノードで[Presence] -> [Inter-Clustering] ページに移動し、更新したノードのピアエントリを、今回は新しいホスト名で再度追加します。
12. [Cisco Unified Presence Administration] > [Presence] > [Inter-Clustering]ページに移動し、クラスター間ピアがすべて起動していることを確認します。[Certificate Status]ビューにエラーがある場合は、次の手順を実行します。[手動同期を強制]ボタンをクリック[Also resync peer's Tomcat certificates]がオンになっていることを確認します[OK] をクリックします。クラスター間ピアステータスが更新されるのを待って、[証明書の状態]がセキュリティに設定されているかどうかを確認します。

これで手順は完了です。注で説明したように、この変更が他のクラスターのノードに完全にプッシュされるまで、最大60分かかることがあります。